



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月10日

上場会社名 イオン九州株式会社
コード番号 2653 URL <https://www.aeon-kyushu.info/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 伊正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 赤木 正彦
四半期報告書提出予定日 2024年7月11日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

TEL 092(441)0611

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	126,328	2.4	701	△63.9	875	△59.3	535	△69.5
2024年2月期第1四半期	123,397	-	1,942	-	2,149	-	1,753	-

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 488百万円 (△71.2%) 2024年2月期第1四半期 1,693百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	15.76	15.75
2024年2月期第1四半期	50.44	50.41

(注) 2024年2月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期第1四半期における対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	176,036	49,621	28.1
2024年2月期	171,514	50,288	29.2

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 49,502百万円 2024年2月期 50,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	-	14.00	-	36.00	50.00
2025年2月期	-	-	-	-	-
2025年2月期(予想)	-	20.00	-	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2024年2月期末配当金の内訳：普通配当26円00銭、特別配当5円00銭、記念配当5円00銭

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	534,000	4.6	10,600	2.1	10,600	0.6	5,100	△27.4	148.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	34,833,558株	2024年2月期	34,833,558株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	854,640株	2024年2月期	874,466株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	33,964,726株	2024年2月期1Q	34,758,515株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2024年3月1日～2024年5月31日）における国内経済は、社会経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善、訪日観光客の増加などを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、地政学リスクの高まり、円安の継続による原材料価格の高騰や、継続的な物価の上昇による消費の減速懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社が経営基盤としている九州におきましては、インバウンド需要の増加に加え、半導体関連産業を中心とした設備投資の活発化による地域経済への波及効果が生じつつありますが、物価高に伴う消費者の生活防衛意識の高まりなど、当社を含む九州のスーパーマーケットを取り巻く経営環境は前年同時期に比べて成長は鈍化しており、厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社は、新たに策定した中期経営計画において「成長領域へのシフト」「商品改革」「既存資産の魅力度向上」「生産性・経営効率の向上」「サステナブル経営の推進」を重点取り組みとして掲げており、これらを通じて経営環境の変化に対応し、企業価値の向上に努めております。

店舗面では、今後の成長に向けて新たに3店舗を出店しました。このうち、3月にオープンした「イオン湯布院店（大分県由布市）」は、昨年閉店したマックスバリュ湯布院店のスクラップ&ビルドによる出店で、地元湯布院と共生するコンパクトなショッピングセンターとして、地元こだわった食料品売場に加えて、毎日の心地よいライフスタイルをサポートする衣料品や住居余暇売場を展開したほか、免税カウンターを導入し、インバウンド需要を取り込みに努めました。また、都市部におけるマーケットシェア拡大を目指した店舗展開として、4月に「マックスバリュエクスプレス千代店（福岡県福岡市博多区）」をオープンしました。一方で、今後の成長に向けた業態転換のため1店舗を閉鎖したことで、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は340店舗となりました。

なお、直近の取り組みとして、福岡市東区に新たな商業施設「Kashii iina Terrace（かしい いーな てらす）」、大分県日田市に「イオンタウン日田ショッピングセンター」を6月にオープンしています。

売上高におきましては、店舗数の増加に加えて、売上構成比の高い食料品の売上が堅調に推移したことで前年同期比102.5%となりました。商品別の動向では、春先の気温が低かったことで季節性の高いアパレル商材を中心に売上が伸び悩んだこと、昨年の行動制限緩和に伴う外出・旅行需要、スクール水着需要の反動影響などもあり、衣料品の売上は前年を下回りました。一方で、食料品については、「しあわせプラス（応援価格）」をはじめとする生活応援施策の品目数拡大やお取引先さまと連携したオリジナル商品の展開、「トップバリュベストプライス」の展開強化など、値ごろ感を重視した訴求を強化したことで、既存店の食料品売上は前年同期比102.8%となりました。また、販売促進面では、イオングループの公式トータルアプリ「iAEON」の新規会員獲得、アプリクーポン企画などの販促施策強化により需要喚起に努めました。これらの取り組みにより、既存店の売上高は、前年同期比101.5%と伸長しました。

営業総利益におきましては、期間を通して営業収入は堅調に推移しましたが、荒利益率の低下により、営業総利益は前年同期比101.6%となりました。第2四半期以降、価格対応やセールスを強化するなど需要喚起に努め、引き続き環境変化への対応を進めてまいります。

販売費及び一般管理費におきましては、今後さらに不足すると予見される労働人口を補うため生産性向上につながるセルフレジや電子棚札などのDX関連先行投資を積極的に実行し導入店舗を拡大いたしました。当四半期末における電子棚札の導入店舗数は、前期末時点に比べ84店舗増加し、計217店舗となりました。また、新規出店や既存店の活性化を計画的に進めたほか、当社の人的資本経営の方針に基づき、物価上昇へ対応し従業員満足の上にも繋げるべく賃上げを実施いたしました。一方で省エネ機器の導入などにより既存店の水道光熱費は前年同期比89.3%となりました。これらに加え、前年第2四半期以降に本格的出店を開始したイオンウエルシア九州株式会社の経費増加により、販売費及び一般管理費は前年同期比105.3%となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高にその他の営業収入を加えた営業収益1,263億28百万円（対前年同四半期増減率2.4%）、営業利益7億1百万円（同△63.9%）、経常利益8億75百万円（同△59.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億35百万円（同△69.5%）となりました。

当四半期における主な取り組みは以下のとおりです。

（今後の成長に向けた取り組み）

- ・新規出店としては、「イオン湯布院店」、「マックスバリュエクスプレス千代店」に加えて、イオン若松ショッピングセンター内にペット専門店「ペットワイド若松店（福岡県北九州市若松区）」をオープンしました。
- ・都市部におけるマーケットシェア拡大を目指し、福岡市内へ「近くて便利な、コンパクトスーパーマーケット」をコンセプトとした「マックスバリュエクスプレス」の展開を進めており、2021年度以降の福岡市内における出店数は計8店舗となりました。カット野菜や冷凍食品、出来立て惣菜などの即食・簡便商材や小容量サイズの品揃えを充実し、小型店舗独自の商品開発を進めるなどの取り組みにより、既存店の売上は前年同期比105.5%と好調に推移しました。

- ・イオンウエルシア九州株式会社では、調剤併設型ドラッグストアと生鮮食品・お弁当・お惣菜まで揃えたスーパーマーケットを融合した新業態「ウエルシアプラス」を2023年度に5店舗出店いたしました。オープン以降、処方せん枚数が着実に増加しており、1年が経過した「ウエルシアプラス大野城若草店（福岡県大野城市）」の5月度売上は前年同期比119.4%と伸長しました。当四半期においては、今後の高速出店に向けた店舗オペレーションの確立と資格取得者の確保、ビューティアドバイザーをはじめとする専門スタッフの育成に取り組んでいます。
- ・新たな顧客接点の創出の取り組みとして、「イオンの移動販売」では、4月に「イオン島原店（長崎県島原市）」で新たに取り組みを開始し、当該サービス実施店舗数は当四半期末時点で計4店舗となったほか、当社のオフィス向けキャッシュレス無人店舗「スマートNICCO」については、各企業の事業所のほか大学や医療介護施設にも拡大し、当四半期末時点で計29か所になりました。また、「Uber Eats」「Wolt」を利用した商品配達サービスを当四半期において7店舗に導入し、計111店舗まで拡大しています。
- ・「決済」「ポイント」「クーポン」「お得な情報」が一つのアプリで完結できるイオングループの公式トータルアプリ「iAEON」の新規会員獲得とアプリクーポンを活用した販促施策の強化に取り組んでおり、当社店舗をお気に入り店舗に登録いただいた会員数は当四半期末時点で62.8万人となりました。

（収益力向上の取り組み）

- ・店舗面では、既存施設の資産価値を高める取り組みとして、4月に「イオンモール香椎浜（福岡県福岡市東区）」をリニューアルいたしました。2024年度において3回に分けて実施するショッピングセンター全体の大規模リニューアル計画の第1期として、地域のお客さまがより快適に、居心地よく過ごしていただける空間を提供するべく、直営売場や専門店の配置を見直し、新たな商品・売場・専門店の導入を進めました。
- ・商品面では、トラベル関連商品や化粧品、毎日の健康をサポートするウェルネスフード、オーガニック&ナチュラル、総菜や冷凍食品等の品揃えを拡充しました。また、月替わりで実施している「素材にこだわった逸品」企画では、九州の生産者、お取引先さまと連携し地産地消・地産域消の取り組みを推進しました。また、環境とからだに優しい商品を集めた当社独自の新たなショップ「b!o l a l a（ピオララ）」の展開を進めており、当四半期末時点における導入店舗数は、「イオンモール香椎浜」を含めて計3店舗となりました。一方で、様々な商品の値上げが続く中で、生活応援施策「しあわせプラス（応援価格）」の取り組みを強化し、オリジナル商品の品揃えを拡大するなど、引き続き企業努力により食品や日用品等の価格維持に努めました。
- ・経費面では、新規出店や既存店の活性化、DX投資など今後の成長に向けた投資を推進する一方で、セルフレジや電子棚札の導入店舗拡大、店舗オペレーション効率改善のための什器導入、販促施策のデジタルシフトなどに継続して取り組み、生産性の向上に努めました。

（地域貢献・持続可能な社会の実現に向けた取り組み）

- ・お買い物を通してできる社会貢献として4月に実施した「環境特別WAONボーナスポイント」の取り組みでは、対象の環境配慮型商品の販売実績に基づき、4,954,135円を宮崎県綾町に寄附する予定です。また、6月実施分に関しましては、令和6年能登半島地震で被害を受けられた「白米千枚田」の復興支援活動にお役立ていただくため、石川県輪島市への寄附を予定しております。なお、2023年度は当該企画を年4回実施し、年間寄附金総額は18,028,105円となっております。
- ・4月に発生した「台湾地震」の被災地域の日も早い復旧と復興を願い、イオングループ各社とともに緊急支援募金を実施いたしました。4月30日までの募金期間に皆さまからいただいた寄附金17,862,523円（※当社及びイオンウエルシア九州株式会社における募金総額は11,530,953円）は、6月に当社店舗で実施した台湾フェアにあわせて、台南市長に贈呈いたしました。
- ・お客さまご自身が環境や社会に配慮した取り組みに参加し、体感いただける機会として、古くなった羽毛ふとんを店頭で回収し、洗浄・再商品化し再販売をするリサイクルループの取り組みを、当社GMS52店舗で3月より開始しました。
- ・地域課題の解決に向けて労使共同でボランティア活動を行う「イオン ハートフル・ボランティア」の一環として実施した宮崎県日向市東郷地区のカモミール収穫支援活動に、新入社員など当社従業員60名が参加しました。この取り組みは、高齢化による人手不足の支援と東郷町のまちおこしであるカモミールの普及を目的に実施しているもので、今年で3年目となりました。今後も地域の皆さまと連携し、地域の課題解決に向けた活動を推進してまいります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ45億21百万円増加し、1,760億36百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ28億44百万円増加し、525億96百万円となりました。これは主に棚卸資産が10億70百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ16億77百万円増加し、1,234億39百万円となりました。これは主に有形固定資産が18億55百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ51億88百万円増加し、1,264億14百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ119億89百万円増加し、963億34百万円となりました。これは主に未払法人税等が11億32百万円減少したものの、買掛金が30億52百万円、短期借入金が59億83百万円増加し、さらに1年内返済予定の長期借入金が返済期日到来に伴い、長期借入金より振り替えられたこと等により47億円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ68億1百万円減少し、300億80百万円となりました。これは主に長期借入金返済期日到来に伴い、1年内返済予定の長期借入金へ振り替えられたこと等により67億47百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ6億66百万円減少し、496億21百万円となりました。これは主に利益剰余金が7億15百万円減少したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期通期の連結業績見通しにつきましては、本資料の公表時点において、2024年4月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,500	5,614
売掛金	3,235	3,894
棚卸資産	28,173	29,244
その他	12,848	13,851
貸倒引当金	△5	△8
流動資産合計	49,752	52,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,310	41,412
土地	42,209	42,209
その他（純額）	10,840	12,594
有形固定資産合計	94,360	96,216
無形固定資産	187	163
投資その他の資産		
差入保証金	14,544	14,571
その他	12,673	12,491
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	27,214	27,060
固定資産合計	121,762	123,439
資産合計	171,514	176,036
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,018	40,070
短期借入金	2,200	8,183
1年内返済予定の長期借入金	7,509	12,210
未払法人税等	1,481	348
賞与引当金	2,723	2,263
役員業績報酬引当金	48	—
店舗閉鎖損失引当金	690	606
その他	32,671	32,650
流動負債合計	84,345	96,334
固定負債		
長期借入金	19,823	13,075
資産除去債務	4,011	4,019
店舗閉鎖損失引当金	2,554	2,553
その他	10,492	10,431
固定負債合計	36,881	30,080
負債合計	121,226	126,414

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,915	4,915
資本剰余金	10,871	10,871
利益剰余金	35,970	35,254
自己株式	△1,965	△1,915
株主資本合計	49,791	49,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	122
退職給付に係る調整累計額	246	254
その他の包括利益累計額合計	342	377
新株予約権	43	89
非支配株主持分	111	29
純資産合計	50,288	49,621
負債純資産合計	171,514	176,036

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）
売上高	117,044	119,952
売上原価	87,470	89,844
売上総利益	29,574	30,108
その他の営業収入	6,352	6,376
営業総利益	35,926	36,484
販売費及び一般管理費	33,984	35,783
営業利益	1,942	701
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	1	1
差入保証金回収益	196	186
受取保険金	40	13
その他	32	54
営業外収益合計	275	259
営業外費用		
支払利息	45	51
支払補償費	—	19
その他	23	14
営業外費用合計	68	85
経常利益	2,149	875
特別損失		
固定資産除却損	—	17
減損損失	—	44
店舗閉鎖損失	32	34
特別損失合計	32	96
税金等調整前四半期純利益	2,116	778
法人税、住民税及び事業税	108	46
法人税等調整額	318	278
法人税等合計	426	324
四半期純利益	1,690	453
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△62	△81
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,753	535

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	1,690	453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	26
退職給付に係る調整額	15	8
その他の包括利益合計	3	34
四半期包括利益	1,693	488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,756	569
非支配株主に係る四半期包括利益	△62	△81

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年5月31日）

当社グループは、衣料品、食品、住居余暇商品、ホームセンター商品等を販売する小売業を営んでおりますが、「SM・DS、GMS」以外の事業はセグメント開示情報としての重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（SM…スーパーマーケット、DS…ディスカウントストア、GMS…総合スーパー）

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）

当社グループは、衣料品、食品、住居余暇商品、ホームセンター商品等を販売する小売業を営んでおりますが、「SM・DS、GMS」以外の事業はセグメント開示情報としての重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（SM…スーパーマーケット、DS…ディスカウントストア、GMS…総合スーパー）